

## GW 例会山行報告 「利尻山北稜スキー滑降」

小野武彦

4月29日

当別発 7:30 → 稚内着 12:30 → フェリー14:20 → 鴛泊着 16:00 → 北麓  
キャンプ場着 17:00 C1

4月30日

北麓キャンプ場発 6:00 → 長官小屋 9:30 → 頂上着 11:30 → 長官小屋  
着 12:00 → キャンプ場着 13:00 → 鴛泊着 14:00 → フェリー発 16:50  
→ 稚内着 18:30 防波堤ドーム泊

5月1日

帰札

計画は東稜から北稜をスキーで滑降する予定であったが、1日から天気が悪くなるという予報で、急遽計画を変更した。30日は風が強かったが天気は良く、久しぶりの頂上を踏むことができた。やはり利尻はいい。

強風のため長官小屋にスキーをデポし頂上を目指したが、できれば頂上からスキーで滑りたかったのが本音。改めていずれ挑戦したい。

長官小屋の手前で栗山パーティと会い、取りあえず北麓キャンプ場で会うことを確認し、その後稚内まで渡ってしまおうということになり、防波堤ドームで一泊。楽しい宴会ができたことは例会山行独特のものである。



## 2011 GW 例会 利尻山 東北稜

L: 栗山 M: 照井

4月28日

16:00 照井のアパートへ迎えに行き、一路稚内へ。ケチって岩見沢まで下道で行き、後は無料の高速で。22:00 頃稚内に到着。雨模様・・・

4月29日

朝一のフェリーに乗る。C山岳会のパーティーが同じ日程で東北稜に入るらしい。鴛泊に着いて、これまたケチってバスでアフトロマナイ林道の入り口まで行く。(¥780/人)

林道を歩き始めるが、ジャンボタクシーが林道を下りてくる。既にC山岳会Pは先行しているようだ。

林道終点で先行Pが見えた。なんだか、左の尾根へ登っていく。あれ?と思ったが、C山岳会のもう一つのPが東稜へ向かったのだ。沢の向こうに東北稜に取り付くC山岳会Pが見えた。この頃から、雨が降ってきた。最悪だ〜! 先行Pのトレースを使い、あまり休まずにガシガシ登る。稜線上は風が強く、雨が横から当たり、これまた最悪・・・

C726を越えると段々気温が下がり、雪になってきた。雨よりずっと良い。C1003付近で先行Pに追いついた。そこでアイゼンを付ける。C山岳会Pとは以降、抜いたり、抜かれたりして進む。一箇所、微妙な攀りと細いリッジだった為、ロープを出した。まもなくして三本槍に着いた。二本目の槍の基部の雪壁をカットしてC1とした。C山岳会Pもすぐ近くだ。

9:15 林道入口~10:30 東北稜取り付き~15:05 三本槍 C1

4月30日

3:30 起床。まだ暗い中、飯を食い準備。テントをたたむ頃には、かなり明るくなっていた。C山岳会Pより先に出発。稜線を雪庇に注意してガシガシ進む。視界も良く、目指すローソク岩がくっきり見える。今年は雪の多いカッコいい利尻だ! まもなくして門に到着。C山岳会Pが後ろから迫る。なんだかあおられる様に私がリードする事にする。快適に攀り、頭でアックスビレー。照井くんがフォローするすぐ後ろをC山岳会PのS氏が迫る。そんなにあおらなくてもね・・・。照井くんにはそのままローソク岩の基部まで行ってもらう。

コンテでローソク岩の上部稜線に出る。いよいよ核心の懸垂ポイント探した。照井くんにアックスビレーしてもらい稜線を上がる。5年前の記憶のイメージの辺りをスコップで掘る。50センチ程掘り下げるとブッシュが見えた。しかし細い・・・そうこうしている間にC山岳会Pも追いつき、私が掘っている5m程下を掘り始めた。すぐに良い支点が見つかったと言う。くそ〜! なんだか意地になって自分が掘った穴をでかくして、少し細いが2箇所からスリングを結び、懸垂支点を作った。ロープを投げて、私が懸垂体制になり、体を外へ出し、周りを見渡す。出だしが結構ハングしていて、難しそうだ。ふと、このまま照井君をここへ置いて行って良いものか?と疑問が湧き、ここからの懸垂を断念。潔くC山岳会Pの掘った支点を使わせてもらう事にする。ここなら、今、人が降りたので下は問題ないのだから、照井くんから懸垂してもらう事にする。支点のスリングを手繰ると、先行Pのロープが・・・。結び目を解き忘れ引掛かっていたのだ。ロープを下に投げてあげる。ん〜大ベテランが初歩的なミスですね・・・。

照井くんが懸垂体制に入る。ここも出だしは少しハングしている。ゆっくり出て〜の助言とは裏腹にドン!と落ちた。オイオイ・・・。そしたら、デイジーが短くて完全にそこにテンションが掛かり、ロープがなぜだか変な所を通っているではないか! なんじゃこれ〜! それから、四苦八苦、何だかんだで散々やって、やっとの事で懸垂できたのであった。良かった〜。

後は最高の晴天の中、先行Pのトレースを使わせてもらい、快適に雪壁を登る。私はすっか

り疲れていて、ゆ〜っくり登る。振り返ると数日前に踏み抜いたと言う雪庇の崩落跡が見えた。窓岩のコルに下りる所だ。幸い大事故にはならなかったようだが、怖い怖い……。まもなくして北峰ピークへ到着。最高の天気だ！今年は本当に雪が多く、頂上ロウソク岩も真っ白だ。

しばし休憩……。予定では本峰リッジを攀る事になっているが、なんだか思いのほか疲れきっている。照井君も東北稜完登に満足でこのまま下山しても良いと言う。お言葉に甘えて、軟弱にも下山する事にした。

北稜下山途中、小野武さんPと会う。長官小屋で宴会の準備ができている？ようだが、明日は雨になりそうなので、今日一気に下山する事にする。尻滑りの斜面を華麗に？滑ってくる武さんと満さん。我々を置いてキャンプ場まで滑っていった。

キャンプ場で2人と合流、大人仕様でタクシーでフェリーターミナルへ。

今回、私が新人の時初めて利尻に登ったルートと同じ東北稜を、新人の照井くんを連れて登る事ができた。私も少しは成長したかな……。と思う感慨深い山行となった。

(文責：栗山)

3:30 起床～5:00 出発～5:50 門～6:20 ローソク岩～9:25 懸垂終了～10:30 北峰ピーク～11:20 長官小屋～14:20 鴛泊フェリーターミナル